

## 第1回 安中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 会議録

開催日時	令和2年10月29日（木）午前10時00分から午前11時40分まで
開催場所	安中市役所本庁舎2階 第201会議室（安中市安中一丁目23番13号）
出席委員 （敬称略）	佐藤公俊（会長）、萩原俊一（副会長）、濱野あゆみ、緑川悦子、武井俊彦、岩井一夫、竹下裕理、茂木三枝、神戸るみ（計9人）
欠席委員 （敬称略）	神澤克彦（計1人）
事務局等	阿部総務部長、地域力創造アドバイザー大山氏 〔企画課〕 田中課長、大野係長、金井主事
傍聴者	0人

●会議内容は次のとおりです。

1 開会 （午前10時00分開会）

2 市長あいさつ 安中市長 茂木英子

市長	<p>〈あいさつ要旨〉</p> <p>本日は、第1回の安中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議にお集まりいただき、誠にありがとうございます。もうすぐ早いもので11月に入ろうというところ、コロナ禍で大変な時期にお集まりいただき、心から感謝申し上げます。</p> <p>この総合戦略は、日本全体が人口減少へ対応する中で、国が地方創生を推進するということでもあります。いかに人、歴史、文化等の地域資源を活かして、この地域をどう活性化していくか、誇りを持ちながら楽しく安心して暮らしていけるまちづくりができるかをみんな考え、策定しようという趣旨の計画であります。会議では、多様な方々に出席していただいておりますので、自由活発にご意見いただければと思います。</p> <p>私も就任以来、移住定住や市民活動の促進、支え合い体制づくり、産業振興等、様々な取組を行って参りましたが、大きな社会変革に伴い、地道に取り組んでいくことが大切だと実感しております。総合戦略の策定には大変期待をしておりますので、皆様の貴重なお時間をいただき、ご意見をいただけることを重ねて感謝申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
----	---

3 委員紹介 名簿の順に自己紹介

4 事務局紹介（自己紹介後、市長退席）

5 会長・副会長の選出

〔会長〕 佐藤公俊委員 〔副会長〕 萩原俊一委員 に決定

## 6 会長・副会長あいさつ

<p>会 長</p>	<p>〈あいさつ要旨〉          今回、総合戦略の2期目となります。第1期策定時に関わらせていただき、その時のテーマとして、1つ目は「人口をどうやって維持するか」が大きなテーマでした。2つ目は、「そのために何をやるのか」という戦略作りであります。当時作成した人口推計が残念ながら当たっており、人口は減少してしまっているため、有効なアプローチが必要となります。日本全国で総合戦略を策定しているわけですが、安中の特徴を活かしたものでなくてはなりません。皆様と知恵を出し合いたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>
<p>副会長</p>	<p>〈あいさつ要旨〉          安中支局で記者を1年間しておりました時に大きな出来事が3つありました。1つ目は、日航ジャンボ機の墜落事故、2つ目は、北陸新幹線の駅が安中にてできる影響で横川-軽井沢間の在来線が廃止となること、3つ目は、安中公害が和解になったことであります。そのような貴重な経験があり、安中に育てていただいたという思いがあります。今回の会議への参加は何かの縁ということで、皆様と一緒に知恵をしぼりたいと思います。人口が減るのは仕方のないことですが、地域の小ネタが尽きたときに地方が減っていくという論文が出ておりますので、安中にある小ネタを皆様と出し合って、計画に盛り込んでいきたいと思っております。ご協力をお願いいたします。</p>

## 7 議事〔議長：会長〕

### (1) 第2期「安中市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について説明

<p>事務局</p>	<p>資料No.3、4、5、6により説明          &lt;説明要旨&gt;          ○策定スケジュール（資料No.3）          推進会議は、全3回開催し、第1回では、主に事務局説明、第2回で各委員からの意見提案、第3回で案の取りまとめを行う旨を説明。          ○第2期総合戦略（案）（資料No.4）          ・資料に沿って「第2期総合戦略の目的」、「第1期総合戦略の成果」、「第2期総合戦略の展開に向けて」を順に説明。          ・「SDGsの現状と本質」及び「SDGsと総合戦略をどのように紐づけていくか」（資料No.5）について、オブザーバーの大山氏から説明。          ・資料に沿って、「第2期総合戦略の対象期間」、「国の第2期総合戦略との関係」「展開方針1～5」、「実施計画」について順に説明。</p>
------------	--

### 〔質疑応答等〕

<p>委員</p>	<p>内閣府が出している「まち・ひと・しごと創生基本方針2020」で感染症への対応などが掲載されていた。新しい生活様式等、この計画にも関係してくると思われる。コンパクトシティの部分で触れてはいたが、コロナ禍における特別な対策等、何か具体的に掲載することについて検討はしているか。</p>
<p>事務局</p>	<p>計画が短期的ではなく、6年間という中長期的なものとなるので、具体的には記載していないが「地域を分散する」や「ICTを活用する」といったことを計画にはにじませている。「コロナ」や「三密を避ける」等の具体的な文言は入れていない。</p>

委員	求人倍率は、コロナ禍ということを加味して目標を設定しているのか。
事務局	機械化等に伴い、今までどおりの雇用が見込めるわけではない。その点を加味して目標値を設定している。
委員	<p>展開方針1の部分で、既存の事業者を応援するような「産業の育成」や「経営革新」についての目標や施策が入ると良い。</p> <p>他自治体では移住コンシェルジュがあり、移住者のフォローをしてくれる。移住後の交流を促進してくれる等、支援をしてくれる。安中市に空き家の関係でよく問合せをするが、移住コンシェルジュがないので様子がわからないことがある。法人所有だと空き家バンクに登録ができないので、その点も相談が可能となる。</p> <p>ファミリー・サポート・センターの会員になるのは簡単であるが、実際に利用したことがない人や提供していない会員も多くいると考えられる。利用実績や利用回数などが指標に入ると良い。</p>
委員	あんなかスマイルパークについて、どのくらいの利用ができるのか、完成はどのくらいの時期か、設置した目的等教えていただきたい。
事務局	施設が開始となるのは来年の4月を予定している。目的は、お子さんから高齢者まで交流できる拠点を目指しており、情報発信等も検討している。細かい内容については、確認して次回報告させていただく。
委員	<p>展開方針2の施策1に関して、他自治体では農産物のブランド化の動きがある。例として、伊勢崎市と生産者が中心となって戦略会議を開催し、前橋市の「赤城の恵（めぐみ）ブランド」、高崎市では「高崎そだち」というブランド振興を進めている。前橋市では、インスタグラムで農産物等の情報を頻繁に発信している。高山村では、農業体験をとおして農産物のPRを行い、直売所の集客にも成功している。そのような自治体は、情報発信が多い。安中市でも秋間梅林観光協会において、魅力的な写真が定期的に発信されているので、他の農産物のPRを同様にしていけば良いと感じる。観光連携に関しては農業体験も一つの手段と考えられる。JA碓氷安中に取材に行くことがあるのだが、新顔野菜に力を入れているので、その点もPRし、安中の魅力を発見してもらい、いずれは移住につながると考えられる。</p>

(2) 第2期「安中市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定に向けた意見交換

会長	質疑応答の部分で要望も出していただいたが、順番に一人ずつ意見を聴かせていただきたい。
委員	<p>第1期と比較すると項目が増えている。農業と地域振興等まとめられるものについては、まとめて掲載した方がよりわかりやすいのではないかと感じる。行政が縦割りになっているので、各課横断的にしていただきたい。感染症対策についてもにじませるのではなく、具体的な言葉があった方が良いと感じた。第1期の達成率を示して、第2期につなげられると理想的である。安中市独自の小ネタを入れ、人を引き付けるような言葉が入ると人の動きにつながるのではないかと感じる。財源も不足しているので身の丈に合った施策を実施していただければ良い。</p>

委員	<p>市民が住みやすい、人に薦めたいと思えるようにしなければならない。安中にずっと住んでいるが、市内のどこに出かけたいかぱっと浮かばなかった。</p> <p>労働者の立場から言うと、私の周りでも障害者の方がたくさん働いており、外国人労働者もいる。企業誘致を行うとしても、長い目で見て、働きやすい環境が整った優良企業を誘致していただきたい。</p> <p>また、自然や遊休農地についてだが、東横野等は区画整備されており、若い人も意欲的に農業に取り組んでいる。しかし、山の方は田んぼに雑草が生えてしまっている状況である。磯部では田んぼに稲穂がなり、黄金色に輝く田んぼから望む妙義山などの風景が少なくなっているような気がする。そのような景観を残すような取組も行っていたきたい。</p>
委員	<p>3歳の娘がいるので保育の関係が気になった。子どもが熱を出したときに預け先がなかなか見つからない。安中では病児保育の要望が上がったりしているのか。高崎では、病児保育を実施している施設が4箇所あり、冬になると争奪戦になってしまう。病児保育を必要としている方はいると思う。</p>
事務局	<p>要望としては上がっているので、市長の方針としても病児保育を進めているところではある。</p>
委員	<p>目標が1箇所というのは、保育の要請が集中してしまうと思われるが。</p>
事務局	<p>予算化したこともあったが、諸般の事情で流れてしまったことがある。なるべく早めに実現できるよう対策を進めていきたい。</p>
委員	<p>そのような施設が整っていると母親も安心して働くことができ、安中に住みたいと感じると思う。</p>
委員	<p>創業の点から、前橋市では、創業資金を活用した人が5年継続している割合を「創業の継続率」として把握している。施策の中で「創業間もない企業の安定成長」とあるので、指標に加えてみてはどうか。</p> <p>また、移住した方が創業するケースが増えている。安中でも移住した方が安心して創業できるよう、支援しても良いと思う。</p> <p>空き家については、移住者は一軒家を希望する方が圧倒的に多い印象である。必ず好みの空き家が見つかるとは限らないので、前橋市でも空き家が不足している現状がある。空き家の充実も取り入れてみてはいかかがか。</p>
委員	<p>展開方針5で「地域の拠点をつなぐ交通と情報通信技術の整備」とあるが、どのくらいの規模の拠点を構想しているのか。交通は、商業的なのか、細野地区で行われているようなボランティア等の支え合いの交通を指しているのか。</p>
事務局	<p>具体的な拠点は設定していないが、地区ごとに拠点を設定して、そこをコミュニティバス等でつなぐことを想定している。バス等の運行が困難な場合は、地域の方々と行政で新たな移動手段を検討していく。</p> <p>中学校区などの細かい拠点だと実効性が薄れてしまうので、ある程度のみとまりをもたせることは考えている。</p>

委員	<p>展開方針1の施策4において、テレワークオフィスを想定していると説明があったが、にごさずに記載した方がより訴求力が出る計画になると考えられる。</p> <p>展開方針5の施策2において、移住コンシェルジュと関係があるが、NPO団体を支援する中間支援組織が欲しいと常日頃感じているので、ぜひとも指標に加えていただきたい。</p>
委員	<p>SDGsが出ると身構えてしまうが、「やわらかいSDGs」をとおすことで、市民の理解も得られやすいと感じた。</p> <p>「市民総働」というキーワードが出たが、県でも新・総合計画の策定に向けて、現在、ホームページにおいてパブリックコメントを実施している。県では、官民共創コミュニティとして、行政と地域、NPO法人、県民の方々と協力して実行していこうという考えである。行政同士の連携も必要と考えられるので、今後積極的にどのように推進していくか検討していく必要がある。</p>
委員	<p>各課横断という話が出たが、SDGsのゴールとそれに紐づく課題は相互に関連している。各指標が所管課で分かれてしまうのはいたしかたないが、関連し合っていることが何か表現されていると良いと感じた。</p> <p>コロナ禍において、リモートワークや創業を考えている方に住んでもらうためには、対策がどのようにされていくか掲載されていた方がより効果的であると感じた。</p> <p>指標の「オンラインで可能な行政手続件数」において、市民の要望が高いものが具体的に何で、それに対してどのように取り組んでいくか記載が不足している。</p>
会長	<p>次回、詳細について説明していただくことになると思うが、何らかの事業について、これを実現したいといった場合説明は可能か。本日は、施策レベルの説明をしていただいたので、事務レベルの説明を次回していただきたい。</p>
事務局	<p>オンラインの行政手続件数の目標50件については、根拠等の説明は可能である。次回、事務レベルでの説明をさせていただく。</p>
委員	<p>観光機構の会議について、参加させていただいたことがある。産業や観光について「あんとりっぷ」やホームページでPRしていこうとしていて、広報に年数回入れていたが、配布されても目を通していない市民は多いかもしれない。市外の方、旅行者や買い物に来る人に向けてPRするために、別の方法を検討した方が良いかもしれない。</p> <p>子どもが3人おり、学童保育や休日保育をよく利用している。働いている人がより活用できるよう幅を広げて、子どもに対するやわらかな環境ができたら良いと感じる。</p>
会長	<p>「あんとりっぷ」は年4回発行しており、ちゃんとやっているようで、発信力が足りていない。</p>
委員	<p>素敵な写真がたくさん掲載されているが、市民はどこに置いてあるかもわからない状況である。せっかく作ったものをもっと多くの方に見ていただきたい。</p>
会長	<p>ある程度意見が出たので、わたしも意見を述べて、皆様の意見を少しまとめさせていただく。</p> <p>以前からSDGsという言葉を目にしてきたが、地域の戦略に落とし込んだ時にこういうことを意味しているのかと少しわかったような気がする。SDGsは社会の要請であり、地域に対する世間の要請であるので、取り入れるのはとても良いと感じたが、保育の</p>

	<p>説明を聞いた時に少し引きずられているような気もした。展開方針3の施策4において、ワーク・ライフ・バランスから男女共同参画に変更したと説明があったが、子育てのしやすさを考えるとワーク・ライフ・バランスのところから考えていき、保育を充実させて、十分に働ける、十分に子育てできるというイメージだった。働き方を考える場合に、保育は重要で、本日も多くの意見が寄せられたので注意深く記述すべきである。</p> <p>6次産業の支援については、支援件数の目標値を5件としていたが、支援を受けていた時はできたが、それ以降は続かないとなってしまっは意味がない。持続性という観点では危うい部分があるので、うまく整合性を図るべきであると感じた。</p> <p>岩井委員のお話で、市民を満足させることは当然で、市外の人からも魅力的であるからこそ定住、移住、関係人口につながっていく。魅力的に見せられるかがとても大事である。</p> <p>また、各課横断的という話が出たが、事業に関してはどうしても縦割りにになってしまうので、施策は横断的に見せないこれから大変になると感じた。</p> <p>感染症に関しては、具体的な事業の説明がなされるとより訴求力、発信力が出るのではないか。</p> <p>展開方針5の「地域の拠点と交通」については、コンパクトシティから自律分散型に大きなコンセプトの転換を行っていた。安中の地域特性において、自律分散型が適切であることの説明がないと県に合わせたように感じてしまう。</p> <p>今回は、新しいたたき台をもとに議論したいと思う。意見が出尽くしたようなので、以上を持って、議事を終了とさせていただきます。</p>
--	--

## 8 その他

事務局	<p>次回の会議日程について  日時：令和2年11月17日（火）午後3時から2時間程度  後日、開催通知と第2期総合戦略（案）を送付する。</p>
-----	---

## 9 閉会（午前11時40分閉会）

事務局	<p>以上をもちまして、第1回安中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を終了とさせていただきます。本日は、長時間にわたるご審議、誠にありがとうございました。</p>
-----	--